

不燃木材の採用及び  
塗装を検討されている皆様へ

不燃木材の塗装について

大阪塗料工業株式会社  
大阪市城東区古市3丁目4番20号

不燃木材の塗装にあたり、以下の点をご注意ください。

<不燃木材に関する内容>

- ・不燃木材は、一般的に木材の中に「難燃剤」を注入することで不燃化しています。この「難燃剤」は水溶性薬剤であることが多く、木材に注入された後、空気中の水分(湿気)を木材表面に呼び込み木材の含水率を高めてしまう傾向にあります。
- ・不燃木材の性質、取り扱いに関する注意事項については、加工先様が一番良く事情をご理解されていると思しますので十分ご確認ください。

<不燃木材の塗装について>

- ・含水率が適切であること(8~12%)を確認してください。現場で塗装される場合、不燃木材表面を触ってみてしっとりしているようであれば含水率が 25~30%であると推測されます。雨のあたらない風通しの良い場所で干し、不燃木材を乾燥させてください。
  - ・含水率が高い状態で塗装しますと、塗膜形成の不具合、塗装面の白化(白ボケ)、不燃木材に注入された難燃剤が結晶化して析出する恐れがあります。また、塗装後しばらくは正常であっても時間の経過とともに塗膜の白化(白ボケ)が生じる場合があります。
  - ・梅雨時期や、雨が降る前、降った後などは湿度が高いことが予想されます。そういった状況で塗装を行いますと塗装面が白化する、または不燃木材に注入された難燃剤が結晶化して析出する場合があります。
  - ・塗装は、塗料の塗装仕様書に従って行ってください。特に以下の点にご注意ください。
    - 素地調整の研磨をしっかり行う・・・不燃木材表面に難燃剤の結晶が出ていることがあります。研磨紙で研磨後、研磨粉をウエスでふき取ってください。
    - 塗装時の塗布量、塗装間隔を守る
    - 均一塗膜になるように塗装する。現場におけるハケ塗りでの立面塗装は基準塗布量に満たない場合があるので、塗布量管理を十分に行ってください。
    - NTX ウルトラック木匠サンディング不燃の研磨工程の際、特に木材の角部分の塗膜のそぎ落としに気をつけてください。
- 木口から水分(湿気)が入ると後で白化の原因になりかねませんので、木口が出ている面に関しては、塗装面と同様に塗装することをお奨めします。

塗装によってある程度、不燃木材からの難燃剤の析出や白化を防ぐことはできますが、素材(不燃木材)が不均一であることから完全に防ぐことは難しいのが実状です。

以上